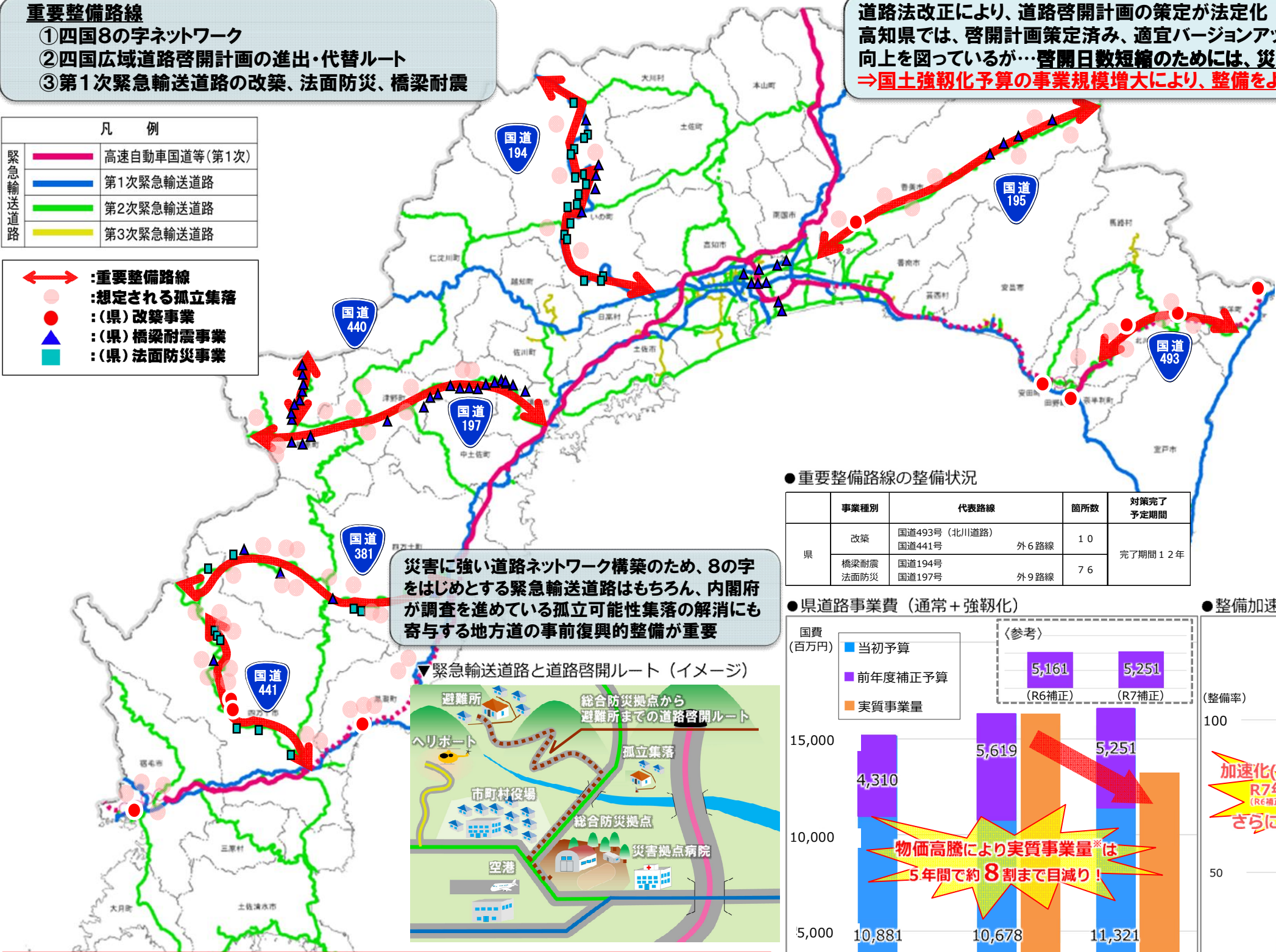


- 重要整備路線
- ①四国8の字ネットワーク
 - ②四国広域道路啓開計画の進出・代替ルート
 - ③第1次緊急輸送道路の改築、法面防災、橋梁耐震

凡 例	
	高速自動車国道等(第1次)
	第1次緊急輸送道路
	第2次緊急輸送道路
	第3次緊急輸送道路

- :重要整備路線
- :想定される孤立集落
- :(県) 改築事業
- :(県) 橋梁耐震事業
- :(県) 法面防災事業



災害に強い道路ネットワーク構築のため、8の字をはじめとする緊急輸送道路はもちろん、内閣府が調査を進めている孤立可能性集落の解消にも寄与する地方道の事前復興的整備が重要



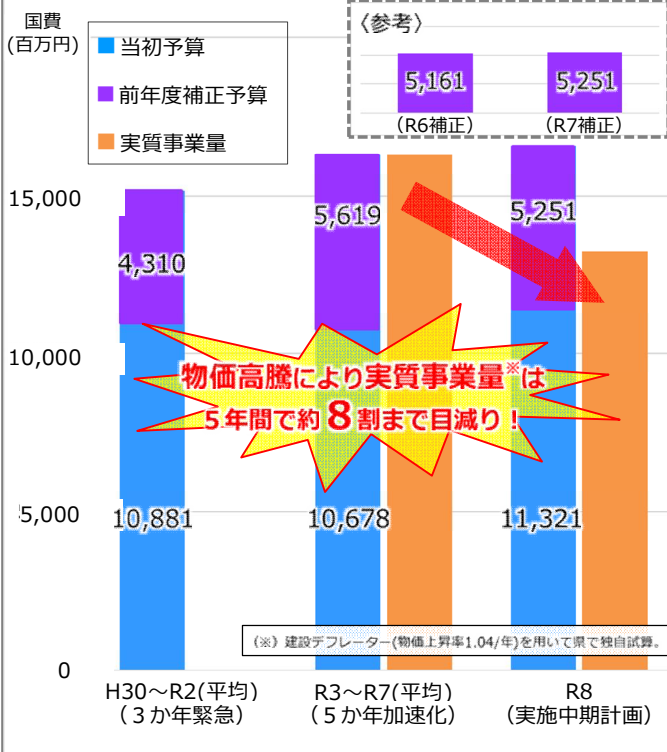
南海トラフ地震の発生が逼迫していることから、「第1次国土強靱化実施中期計画」においては、**資材価格の高騰等の影響を適切に反映し、能登半島地震の教訓を踏まえて、さらなる加速化を図るために、これまで以上に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で当初予算として確保**すること。

道路法改正により、道路啓開計画の策定が法定化！
高知県では、啓開計画策定済み、適宜バージョンアップを実施、訓練の反復により実効性の向上を図っているが…**啓開日数短縮のためには、災害に強い道路網が必要！**
⇒**国土強靱化予算の事業規模増大により、整備をより加速可能！**

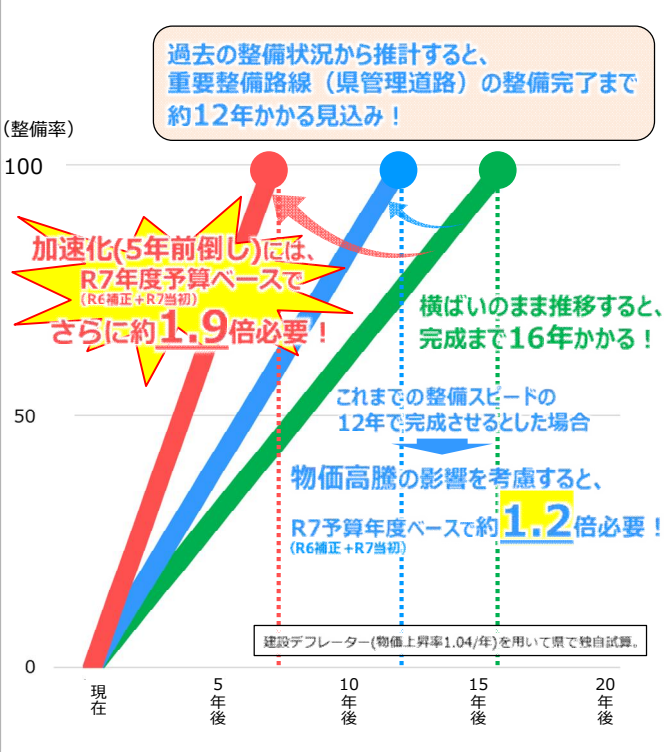
●重要整備路線の整備状況

	事業種別	代表路線	箇所数	対策完了 予定期間
県	改築	国道493号(北川道路) 国道441号	外6路線	10
	橋梁耐震 法面防災	国道194号 国道197号	外9路線	76
				完了期間12年

●県道路事業費(通常+強靱化)



●整備加速化イメージ



※写真:国土交通省HPより

半島地域における構想路線の早期具体化

沿岸市町村のうち、
室戸市・土佐清水市・大月町には
高規格道路がない
新たな道路ネットワークの整備が必要！

海岸近くを走る国道321号



土佐清水市大岐付近



土佐清水市竜串付近



大規模南海トラフ地震発生時の啓開日数短縮のためには、**災害に強い道路ネットワークが必要！**
能登半島のような災害脆弱性を有する半島地域における、強靱な道路ネットワーク確保に向けて、全国的に**新広域道路交通計画 (R3年度策定) を更新し、事業化へのステップを明確にすべき！**